

ステークホルダーとのコミュニケーション

基本的な考え方

SMBCグループでは、「お客さま」「株主・市場」「従業員」「社会・環境」といった、さまざまなステークホルダーの皆さまとの関係構築を図り、より良い価値を提供することを通じて、社会全体の持続的な発展に貢献することを目指しています。

SMBCグループのステークホルダー



ステークホルダー コミュニケーションの例

| | |
|-------|---------------------------|
| お客さま | 店頭アンケート、お客さま満足度調査、コールセンター |
| 株主・市場 | 株主総会、投資家説明会、個別面談 |
| 従業員 | 経営層との意見交換会、従業員意識調査 |
| 社会・環境 | 国内外のイニシアチブへの賛同、ボランティア活動 |

社会・環境との対話

事業を通じた社会への貢献に加え、豊かな社会を実現するための「良き企業市民」として、社会的責任を果たすべくさまざまな社会貢献活動を行っています。

全国各地で行う地域の清掃活動にグループ各社の従業員が参加しているほか、従業員がプロボノとして各種NPOの活動を支援することで、社会課題の解決に向けて取り組んでいます。

株主・市場との対話

SMBCグループでは、「事業の発展を通じて、株主価値の持続的な増大を図る」ことを経営理念のひとつとして掲げ、企業・経営情報の適切なディスクロージャーを株主価値経営の前提として位置付けています。そのため、決算後の投資家説明会や各種カンファレンス・個別面談、個人投資家向け説明会等を通じて、経営戦略や財務状況等を的確にご理解いただけるよう努めています。こうした取組により、2020年度も、2019年度に引き続き、日本証券アナリスト協会主催の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業（銀行部門第1位）」を受賞しました。

なお、コロナ禍においても、各種説明会や投資家との個別面談は非対面の形式で実施する等、安全に配慮しながらもディスクロージャーの質を落とさない取組を行っています。



投資家説明会におけるプレゼン動画配信

個人投資家向け説明会



第19期定時株主総会

CFOスモールミーティングの様子

2020年度の実績

| | |
|-------------------|-------------|
| 株主総会 | 参加者数: 546名* |
| 機関投資家・アナリスト向け説明会 | 11回開催 |
| 機関投資家・アナリストとの個別面談 | 301回実施 |
| 証券会社主催カンファレンス | 4回参加 |
| 個人投資家向け説明会 | 2回開催 |

* インターネット同時中継の視聴者440名を含む

従業員との対話

経営陣が従業員と向き合い、相互理解を深めるためのさまざまな取組を行っています。

たとえば、2020年度は、昼食の時間を利用してグループ各社の若手従業員とグループCEOが交流する「カタリバ2020」を開催しました。若手従業員が自らの夢や目標を語る中で、さまざまなアイデアや新しい発想が生まれ、活発な意見交換が行われました。

また、コロナ禍においても、タウンホールミーティングや、社内コンテストの表彰式等の場を活用し、経営陣が現場の従業員と直接コミュニケーションを行いました。



「カタリバ2020」ランチミーティング



社長表彰式の様子（SMBC日興証券）